

第1学年 国語科学習指導案

1年 18名
指導者 塩本洋子

1 単元名 エルフとともだち 「ぼく」とともだち 本とともだち

共通教材 「ずうっと、ずっと、大すきだよ」(光村 1年下)

発展教材 『おやすみなさいフランス』(ラッセル=ホーバン 福音館書店) 他の本

2 指導にあたって

(1) 単元の構想と展開について

本学級の学習者は、お話を聞いたり読んだりすることが大好きである。指導者による読み聞かせや、自ら絵本などを読む活動で、お話の世界に浸ることの楽しさを体験している。「おむすびころりん」「大きなかぶ」「くじらぐも」などの教材により、登場人物になりきって心情や場面の様子を想像したり表現したりする学習にも繰り返し取り組んでいる。また、前単元の「よく見て書こう『しらせたいな、見せたいな』」では、ペープサートやカードなど表現物を見せながらじっくり紹介することへの関心も高まってきた。

本単元は、今までの学習で培った読みの力を定着させるとともに、それを生かして学習者が主体的にお話を選び、読書の楽しさを体験し、お話への興味・関心を深めることができるようにすることを目標としている。共通教材「ずうっと、ずっと、大すきだよ」で、自己紹介の仕方を学ばせ、その経験をもとにして、自分の選んだ本について取り組ませる。そのことによって、戸惑うことなく登場人物になりきる楽しさが味わえるようにしたい。読書の楽しみと親しみをさらに広げるための方法として、「おはなし動物村」を作り、知らせたい本を選び、紹介するカードなどを作って本の登場人物になりきって自己紹介する活動を設定する。動物村の散歩という形で登場人物の動物と友達になるのをきっかけとして友達の発表を聞く楽しさに浸らせたい。そして、自分の好きなお話を進んで読むようにしたい。

(2) 教材について

この物語は、主人公「ぼく」が愛犬「エルフ」をいかに愛していたかが、回想の形をとって展開されている。物語は大きく4つの部分で構成されている。「エルフの紹介」「ぼくとエルフの心の交流」「エルフの老いと死」「後日談」から成り立っている。このうち、エルフが年をとっていき、やがて死んでしまうという部分がこの物語のクライマックスになっている。年をとったエルフに「ずうっと、大すきだよ。」という言葉をいつもささやく「ぼく」。主人公がエルフをいかに愛していたかが分かる。また、そのことが、死という悲しみの中にも気持ちの救いとなっている作品である。

本学級の学習者は、生き物に対して、興味・関心をもっており、生き物と一緒に生活したり、世話を続けたりしている者がいる。この物語の主人公「ぼく」の心情も、主人公に同一化しながら読むことができると考えられる。好きな所を見付けることにより、お話を自分で読むことの楽しさを第一に考えて指導したい。一人一人の学習者の読み取り、感想を大切に指導を進めていきたい。

(3) 主体的・自覚的にことばを学ぶための手立て

主体的に読むことができるように、次のような手立てを講じる。

前回「どうぞのいす」で喜んでもらったことを思い起こさせながら、楽しいおはなし動物村を作り、「保育所の子どもたちをおはなし動物村に招待しよう」という交流の場をゴールに位置付けることにより意欲的に活動に取り組めるようにする。

そのお話を選んだのは自分一人という状況を設定することにより、紹介するという活動への意欲を高める。

挿絵と叙述を結び付けながらお話の筋の展開を考えたり、挿絵に描かれた人物の様子や表情から、その場面の人物の心情を想像したりした上で、それを叙述によって確かめていくことができる。また、読後の感想交流も挿絵をもとにして、一番気に入った場面や印象に残った場面などについて発表させるようにしたい。

学習者が紹介したくなりそうな動物が出てくる本をいろいろと用意し、自分の好きな本を積極的に紹介し合うという活動を通して、読書意欲をさらに高めていきたい。

自覚的に読むことができるように次のような手立てを講じる。

「ずうっと、ずっと、大すきだよ」での読み(紹介の仕方)と同じ方法で自分が選んだ本の自己紹

介をする。同じ視点（出来事，言葉に立ち止まりながら想像する，好きなところを見付ける）で読ませることにより読み方を自覚できるようにする。

紹介の後で，読みたくなった本にスターカードを貼らせたり，その学習者と対話しながら「よかったねカード」を渡したりする中で，自分のよさや成長を自覚させる。

挿絵を活用し，自分の一番気に入った場面や印象に残った場面を紹介させることにより，自分の読みや思いを大事にできるようにする。

3 単元の目標

(1) 学習者の活動目標

おはなし動物村を作ろう。

読んだ本の登場人物になりきって自己紹介をしよう。

(2) 指導目標

「ずうっと，ずっと，大好きだよ」や自分の読みたい本の場面の様子や人物の心情を具体的な表現をもとに想像しながら読むことができるようにする。

読んだ本をお面やペープサート，ふくろ人形を使いながら，生き生きと友達に紹介したり，友達の顔を見ながら楽しんで聞いたりすることができるようにする。

4 単元の評価

	評価規準	「十分満足できる」と判断される状況 「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導 【 】は評価資料
関心・意欲・態度	易しい読み物に興味をもって，楽しく読もうとしている。	本との出会いに喜びを感じ，自分からいろいろな本との出会いを求め，読もうとしている。 読み聞かせの機会を多くとり，感想を話し合う中で，読もうとする意欲を高める。 【読書の記録】
読むこと	お話の内容をふまえながら，登場人物の特徴や場面の様子を想像している。直感的ではあるが，こうするんだろうなと想像を広げている。 【読みの質】	まだまだ感覚的ではあるが，お話の内容をふまえ，ある程度しぼりこみながら登場人物の特徴やそれぞれの場面を想像している。また，自分の経験や思いに引きつけながら，こんな気持ちだろうな，こうするんだろうなと想像を広げている。 読者の一人として指導者の考えを示したり，一対一で対話をしたりする。 【発言・学習の記録】
	場面ごとにゆっくりではあるが，さし絵と叙述（ことば）を結びつけながら読んでいる。 【読み方】	場面ごとにゆっくりではあるが，さし絵の人物の表情の変化，情景の変化とことばを生き生きと豊かに結びつけている。 挿絵を活用し，お話の順序を整理したり，あらすじをとらえたりする。 【学習の記録】
	場面の様子や登場人物の行動・心情などについて，具体的な表現をもとに想像を広げている。 【付けるべき能力】	お話のあらすじをつかみ，好きなところを見付け，自分の経験に結び付けながら，具体的な表現から場面の様子を思い浮かべたり登場人物の心情を想像したりしながら読んでいる。 どのようなことばに着目すればいいか，学習の手引きを使って具体例を示す。 【観察・学習の記録】
話聞すぐこと	今までに読んだ本の中から好きな本を友達に紹介したり，友達の本の紹介に興味をもって聞いたりしている。	話すときの姿勢や適切な声の大きさに気を付けて，表情豊かに生き生きと紹介している。 ○ 相手の顔や表情を見ながら，紹介を最後まで楽しんで聞いている。 発表の仕方や聞き方について注意を促す。 【発言・表情】

5 単元構想表 (全11時間)

学習活動	学習者の意識の流れ	主な指導・支援	付けるべき能力
<p>【事前】動物が登場する話を聞いたり、集めたりする。</p> <p>1 「ずうっと、ずうっと、大すきだよ」をぼくになって紹介する形で読む。 (5時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらすじ ・小さい頃のエルフ ・年老いていくエルフ ・エルフが死んでから ・心に残った場面の音読 <p>2 動物の出てくる本を読み、友達になった登場人物(動物)を紹介する準備をする。 (国語3 図工2) 紹介する人物を決める。 紹介カードを書く。 紹介の練習をする。</p> <p>3 おはなし動物村の発表会をする。 (3時間) 【本時1/3】</p> <p>発表をする。 保育所のお友達を招待して発表する。</p>	<p>「くじらぐもにのっ」「しらせたいな」見せて旅をしよう」登場人物になって空の旅を楽しんだよ。」カードやペープサートなどを使って好きな動物を紹介したよ。」</p> <p>動物の出てくるお話を読んでみよう。「ずうっと、ずうっと、大すきだよ」のエルフを「ぼく」になって紹介しよう。</p> <p>「ぼく」になって、どんな出来事があったのかを紹介しよう。 ことばに立ち止まりながら、「ぼく」や「エルフ」の気持ちを想像しよう。 みんなに伝えたい、お話の好きなところを見付け、音読しよう。</p> <p>紹介する中で「ぼく」や「エルフ」の気持ちが分かったよ。ますます好きになったよ。</p> <p>もっともっとたくさんの本(動物たち)と出会いたいな。友達に紹介したいな。</p> <p>おはなし動物村を作ろう。 保育所のお友達を招待しよう。</p> <p>友達になった動物のことがよく分かるように紹介したいな。 くま ライオン うさぎ たぬき きつね 他</p> <p>あらすじを紹介しよう。大好きなところは・・・ ことばに立ち止まりながら、気持ちを想像しよう。 好きな場面を選び、音読しよう。</p> <p>おはなし動物村を散歩しよう。 いろいろな動物たちが、友達になろうって話しかけてくれるよ。</p> <p>いかにもらしいな。あれっ、にこんなところがあるなんておもしろいな。 の気持ちがよく伝わってくるよ。上手な発表だね。 読んでみたい。と、お友達になりたいな。</p> <p>本の登場人物と友達になるって楽しいな。動物たちが出てくる詩がたくさんあるよ。動物村の住人になって、いろいろな詩を楽しもう。「どうぶつ村の音楽会」</p>	<p>動物が登場する本を読み聞かせたり、動物が登場する本を並べたりして、本を読もうとする意欲を高める。</p> <p>「ぼく」になって紹介する形で繰り返し読むことにより、登場人物の気持ちを想像できるようにする。</p> <p>色別のカードで紹介する内容を整理する。</p> <p>同じ物語でも、心に残る場面は友達によって違うことに気付かせる。</p> <p>「ずうっと、ずうっと、大すきだよ」の学習と重ねながら、紹介するという形で繰り返し読ませる。カードに整理しながら読み進める。個別に対話しながら、学習者の読みのよさが生かせるようにする。</p> <p>ペープサートや袋人形を作ったり、動物村を作ったりする中で、発表しようとする意欲を高める。</p> <p>おはなし動物村という環境を設定することにより、楽しい雰囲気を作り、たくさんの登場人物に目が向けられるようにする。</p> <p>紹介の順番や場所を工夫する中で、お話のよさに気付くことができるようにする。</p> <p>同じ登場人物が出てくる本を並べておき、読もうとする意欲を高める。</p>	<p>○場面の様子や登場人物の行動などについて、想像を広げながら読む。</p> <p>ペットとして飼っていたエルフに対する主人公の心情を想像しながら読み進める。</p> <p>興味をもとに本を手にとり簡単な本や絵本を楽しんで読む。物語の展開に興味をもちながら、本を読むことの楽しさやおもしろさを感じ、自ら楽しむために読書をしよとす。</p> <p>自分の好きな本を積極的に紹介したり、友達の本の紹介でいいなと思うところを聞いたりする活動とおして、いろいろな本に興味をもち、読書の幅を広げる。</p>

6 本時の学習

(1) 本時の学習について

前時までに作っていた紹介カードやお面やペープサート、袋人形などを使って登場人物になりきって自分の好きな本（動物）の紹介をする。紹介が終わる度に質問タイムをとり、もっと知りたい事について尋ねる活動を取り入れることにより本に対する興味や関心を高める。

(2) 目標

学習者の活動目標

登場人物になりきってお話を紹介しよう。

お話を楽しみながら聞こう。

指導目標

お面やペープサート、ふくろ人形を使いながら、生き生きと本を友達に紹介したり、友達の顔を見ながら興味をもって本の紹介を聞いたりすることができるようにする。

(3) 展開

時間	学 習 活 動	指 導 ・ 支 援
5	1 動物村の住人を紹介する中で、登場人物に対する興味をもつ。 登場人物になりきってお話を紹介しよう。	1 学習者の紹介カードの中からおもしろい出来事や会話の一部分を紹介し、聞こうとする意欲を高めるとともに聞くときの観点を示す。
30	2 さんぼの形で教室を移動しながら発表し合い、聞き合う。(前半) ペープサートや人形を動かしながら、お話を紹介する。 聞いたあと、質問したり、感想を言ったりする。	2 紹介の順番や場所を工夫する中で、お話のよさに気付くことができるようにする。 発表者の横で、本を持ち、聞き手の一人として、うなずくなど反応しながら聞いたり、感想や質問を述べたりする中で、お話のよさが引き出せるようにする。 その子の成長やかんばり、よさに気付くことができるよう、「よかったねカード」を渡す。
10	3 自己紹介を聞いて読みたくなった本にスターカードを貼ったり、散歩の感想を発表したりする中で、次時への関心を高める。	3 「どの登場人物と友達になりたい」と声をかけることにより、読もうとする意欲を高める。その本を選んだ訳を何人かに発表させる中で本への関心を高める。

(4) 本時の評価

関心・意欲・態度	易しい読み物に興味をもって読もうとしている。	本との出会いに喜びを感じ、自分からいろいろな本を読もうとしている。 感想を話し合う中で、読もうとする意欲を高める。 【発言・カード】
話聞すぐことと	自分の選んだお気に入りの本を、はっきりとしたことばで紹介している。 友達の発表を静かに聞き、聞きたいことについて質問している。	自分が友達になった本のすばらしさを相手に伝えるように、表情豊かに話している。 相手の顔や表情を見ながら、あいづちを打ったり、友達の紹介のいいところを見付けようと、最後までじっくり楽しんで聞いたりしている。 発表の前に、発表の仕方や聞き方について注意を促す。 【発言・表情】